



良い人の落とし穴 悪人正機の教えとキリスト教 … 良い人でも救われなければならないということ 立石尚志

良い人たちは確かに世の中に大勢います。新約聖書「使徒の働き」の中でベレヤという町の人々について次のようにあります。

「兄弟たちは、すぐさま、夜のうちにパウロとシラスをベレヤへ送り出した。…このユダヤ人は、テサロニケにいる者たちよりも**良い人**たちで、非常に熱心にみことばを聞き、はたしてそのとおりかどうかと毎日聖書を調べた。そのため、彼らのうちの多くの者が信仰に入った。その中にはギリシャの貴婦人や男子も少なくなかった。」使徒の働き 17章 10～11節

伝道者パウロとシラスはベレヤ（現 Veria/Greece）に来る直前までテサロニケ（現 Thessaloniki）に滞在していたのですが、テサロニケの悪い同輩ユダヤ人たちから散々な目に遭わされ、町を脱出せざるを得ませんでした。一方、ベレヤのユダヤ人たちは「良い人」で、大勢信仰に入り、その後も順調に成熟していったようです。ところで、ここでいう「良い人」とは、紳士的、親切、親身、明るく穏やか、真面目で勤勉、平和的というイメージですね。ここではベレヤの人々の「良さ」が積極的なこととして記されていますが、この基準に照らしますと、私は掛け値なしに日本人には「良い人」が多いと感じます。しかし、良い人であっても、ベレヤの人たちのように信仰に入って救われる必要がある、というのが聖書の教えです。そして何と、日本人にとって身近な仏教（浄土真宗）の教えにもそうあるのです。

キリスト教に非常に似た仏教：浄土真宗は親鸞上人が開きましたが、その本山、京都の西本願寺には景教（ネストリウス派キリスト教）の聖典『世尊布施論』が所蔵されています。これは新約聖書の一部と聖書の教えを記した書物であり、世尊とはイエスのことです。親鸞が熱心にイエスの教え、聖書を学んでいたというのは驚きですし、なぜ浄土真宗の教えが聖書の教えに酷似しているのかも理解できるように思います。その中でも「善人なほもて往生をとぐ、いわんや悪人をや…」で知られる「悪人正機」（あくにんしょうき）の教えは浄土真宗の中心的な教義であり、聖書の教えと重なる部分があるのです。この教えは「悪人こそが阿弥陀仏の本願（他力本願）による救済の対象である」と教えるのですが、その悪人とは誰でしょう？

衆生（しゅじょう：普通の人々）は、末法に生きる凡夫（ぼんぷ：自己中心的）であり、仏の視点によれば「善悪」の判断すらできない、根源的な「悪人」である…。阿弥陀仏の光明に照らされ… 真実に目覚めさせられた時に、自らがまことの善は一つも出来ない悪人であると気づかされる。…

※ウィキペディア「悪人正機」より抜粋；（）内は私の付け足し。

自分が仏の目から見たら全くどうにもならない悪人であり、救済の必要を自覚した人が救われる対象である、というわけですが、これはイエスの有名な「**イエスはこれを聞いて、彼らにこう言われた。「医者が必要とするのは丈夫な者ではなく、病人です。わたしは正しい人を招くためではなく、罪人を招くために来たのです。」**」マルコ 2:17 と通じます。イエスの宣教に最初に応答した人たちは否応なく罪を自覚させられていた売春婦、取税人、病人（病氣は当時、何らかの悪に対する応報と考えられていた）

たちであり、当時のユダヤ人社会で「罪人」というレッテルを貼られていた人たちでした。まさに「悪人正機」です。

良い人の落とし穴：一方、私が親鸞の「善人」の定義を調べて驚くのは、これもまた聖書の教えと深くつながっていることです。

親鸞はすべての人の本当の姿は悪人だと述べているから、「善人」は、真実の姿が分からず、善行を完遂できない身である事に気づくことのできていない「悪人」であるとする。また自分のやった善行によって往生しようとする行為（自力作善）は、「どんな悪人でも救済する」とされる「阿弥陀仏の本願力」を疑う心であると捉える。※同ウィキペディアより

聖書の中で出てくるパリサイ人、律法学者という人たちは他人に「罪人」のレッテルを貼り、自分たちは「正しい人」のグループに属しているという自覚を持った宗教熱心な人たちでした。ここに「高ぶり」という良い人／善人の落とし穴と罪があり、イエスは厳しくこの罪を戒め、責められました。親鸞のいう「善人」はパリサイ人同様、仏の善の基準に到底及ばない自分を自覚せず、我力で往生できると不遜に思っている人たちのことでした。私たちが自分の「良い人」ぶりに信頼し、自分を人の一段上に置いて他人を「悪人／罪人」と見下すなら、神の目に甚だ罪深い存在として映るのです。

ベレヤ人たちの真理を求める姿勢と謙遜に倣う：ベレヤの人々は幸いなことに、この落とし穴に陥っていなかったようです。彼らの「良さ」には模範とすべき追加ポイントがありました。

- ① **非常に熱心にみことばを聞き…** ベレヤの人たちは人の話しに耳を傾ける謙遜さがありました。
- ② **果たしてその通りか毎日聖書を調べた…** 彼らは真理を追求し、探究する心と姿勢を持っていました。
- ③ **信仰に入った…** 彼らは真理を悟ると、その結論に基づき、行動を起こし、方向転換して従順に従いました。

南無阿弥陀仏？イエス・キリスト？ イエス・キリストの十字架から約 1000 年後、親鸞は中東からすれば東の果ての国で、釈迦の「自ら悟りを開く仏教」とは真反対、しかも実にキリスト教に近い教えを唱え、救済は「ただひとえに阿弥陀仏の本願にすがることであると教えました。ただ救いの根拠であるはずの「阿弥陀仏」という存在が実際の歴史に根ざした存在でない、というところに聖書との決定的な違いがあったのです。聖書が伝えていることは、「**神の御子が人となり、十字架にかかり、贖いを成し遂げて死人の中からよみがえり、今も生きておられ、世の最後に再臨される。世界中のどんな人でも主イエスの名を呼ぶなら罪赦され、救われ、神の子供としての立場を回復する**」ということ。今年のイースターもいよいよ 4 月 16 日、2 週間後に迫りました。ぜひ新約聖書のマタイ、マルコ、ルカ、ヨハネ、どの福音書でも構いませんが、その中に自らを現してくださるイエス・キリストに出会ってください。ベレヤの人々に倣うなら、素晴らしい救いを味わうこと、これこそ聖書、神の約束です！■

神さまによって変えられて キャスパー 奈津枝（サラトガ集会主宰者 2016年8月ウェルカム礼拝での証し）

● **私は神奈川県横浜市**で生まれ育ちました。両親は私が10歳の時に離婚したので、兄と私は母子家庭で育ちました。社会人になってからは、やりたい事を達成することや、お金や欲しい物を手に入れることによって満たされたいと思っていました。悪いと知っていながら罪を犯しましたし、自

分自身のことを本気で考えることも、問題と真剣に向き合うこともなく、いつも問題から逃げていました。

● **神様と出会う前**の私は自分が罪人だということは分かりませんでした。私が神様に会い、変えられたきっかけは結婚後の夫のハワイへの

転動でした。友達に誘われ、家庭集会や聖書の学び会に行くようになり、教会にも行くようになりました。家庭集会での学びの最後に毎回必ず「あなたは天国へ行きたいですか？」という招きがありました。それまで私は死んだら自然に天国に行けると思っていました。だからイエス・キリストが私の罪のために十字架で死なれたなんて全然ピンと来ませんでしたし信じることもできませんでした。しかし学びを続けていく中で次第にイエス様の招きに応えたい気持ちでいっぱいになりました。そしてイエス様が私の罪のために十字架にかけられ、死んで葬られ、三日目によみがえった事、イエス・キリストが救い主だという事を信じました。神様はこんな私のすべて知っていてハワイへ導いてくださったのです。ハワイに来なければイエス様のことを知ることはなかったし、今こうして皆さんにお話しすることもなかったでしょう。神様はそれまでの自分には想像もできないような展開に私を導いてくださいました。

● **信じた後**、洗礼を授かり、クリスチャンとしての歩みが始まりました。しかしいい事ばかりではなくチャレンジさせられる事の方が多く、信じた後でも迷いは沢山ありました。私は本当にイエス様の十字架の贖いを信じているのか、本当に救われているのか、とって不安になる時もありました。引越しを繰り返す中で神様から遠く離れてしまい、神様に祈りもしなければ教会にも行かず、聖書も読まないといった時期を過ごしました。しかし神様はそんな私がクリスチャンとして大きく成長できるように2つの出来事を起こしてくださいました。

● **一つ目は**サンディエゴの教会でのことでした。ある時、礼拝で献金のお祈りを担当していた方が引越しをしたので代わりにしてみないかと聞かれました。人の前に出てスピーチした時、緊張が理由で失敗した経験があり、そのことをずっと引きずっていたので、最初は断りました。しかし牧師先生がとても喜んでお祈りしている姿を見ていて気持ちが少しずつ変わられていき、やらせてください！と申し出ました。最初は緊張でお祈りできなくなることを推定してメモを読みながらしました。こんな方法で大事な献金のお祈りをして良いのだろうか？と思いながらも毎週お祈りを捧げていました。一週間かけて「周りを気にせずに神様だけを見上げてお祈りができますように、どうぞあなたの導きのままに祈れますように」と祈りました。不思議と次第に緊張が減り、気がついたら自然とお祈りできるようになっていました。これは私の言葉では無く、神様が私の口を動かしてくれているのだと思いました。以前、自分自身に頼り、周りの人を気にしすぎて緊張して

できなかったことが、今では神様に頼ることによって出来るように変えられました。今日もこのようにして皆さんの前に出て証しができるのも神様無しでは本当にありえないことなのです。聖書の**箴言16章3節**に、「**あなたのしようとすることを主にゆだねよ。そうすればあなたの計画がゆるがない。**」にある通りです。

● **二つ目は**本気で祈らされる時が与えられたことです。このことは最も大きく私を変えたことの一つだと思います。以前の私は祈ることは寝る前だけの事でしたので、自分がクローゼットに入り、ひざまずいて祈るようになるなんて思ってもみない事でした。ある年、夫の父、また教会の2人の方が癌をわずらっていました。私の周辺で3人の方たちが癌によって苦しみ、希望を失い、数々の不安を抱えながら病氣と闘っていました。私も若くて元気だった義父がなぜ癌になどなるのだろうと何度も思いました。そのような中で私にできることは何だろうと思った時にお祈りすることしかできないことを知りました。この時から初めて聖霊に導かれて祈るようになりました。神様がどのように祈りを聞いてくださったかはここでは話しかれませんが、苦しみの中にも神様は数々の恵みを注いでくださり、神様を崇めることができました。

「**求めなさい。そうすれば与えられます。捜しなさい。そうすれば見つかります。たたきなさい。そうすれば開かれます。**」(マタイ7章7節)

本当に必要な神様に求めているのです。自分の願いが果たして主の御心かはわからないけれども、祈ることによって思いを主に知ってもらうことができるのです。このような経験から祈ることがクリスチャン生活の中で本当に大事な事だと気づかされました。誰でも求めていくなら神様は答えてくださいます。

● **イエス様に会い**、イエス様が私の罪のために十字架にかけられ死んでくださったことが神様の恵みと愛だと分かっていただいたことによって、時間がかかりましたが私は少しずつ変わられてきました。これからも変えられたいと願っています。今、置かれている場所で、神様から受けたこの大きな恵みと愛を家族や出会う人たちに伝え、神様のために用いられていきたいです。最後に私の好きな聖書のことをシェアして終わらせていただきます。

「**誰でも渇いているなら、私のもとに来て飲みなさい。私を信じるものは聖書が言っているとおり、その人の心の奥底から、行ける水の川が流れ出るようになる。**」(ヨハネ7章37、38節)

2017年 春から夏の集会・行事予定

下記以外にも週の間に入門クラス、聖書の学び会等が行われています。お問い合わせください。

【定例集会】

- ★ 日曜礼拝／10:00～11:30
交わり会／11:30～12:00
- ★ 祈り会／水曜日 10:00～12:00

【各種集会】

- ★ **スタンフォード** 聖書を読む会
隔週水曜午後 1:15 場所：井上宅
- ★ **ハートフォード** 聖書を読む会
隔週月曜、毎週木曜午前 要問合せ

- ★ **グリニッチニア** 聖書を読む会
毎週火曜午後 4時 場所：教会図書室
- ★ **サラトガ家庭集会**
月1回 10:30 場所：キャスパイ宅要問合せ

☆☆☆ ファミリー・イースター・セレブレーションのお知らせ

- 4月16日(日) 午後1時～3時 当教会にて
- ・ お申し込み：準備の都合上、事前に申し込んでいただけますと感謝です。
 - ・ 持ち物：エッグハントのためのカゴか袋をご持参ください。
 - ・ 参加費：無料(集会中自由献金があります)



☆☆☆ 春のゴスペルコンサート 5月21日(日) 6時半より

グリニッチゴスペルクワイアが結成され2年半。毎回、地域の方々が集められ、歌う一人一人がゴスペルを通して神様から多くの恵みを頂いています。その神様の素晴らしい恵みをみなさんにもぜひ分かち合わせてください！お待ちしております。



☆☆☆ドクター和泉・春の健康講座

日時：4月25日、5月23日、(6月は未定/追って連絡) 毎回 火曜日 12:30PM ~ 2:00PM

☆☆☆ 4月、5月のウェルカム礼拝

日時：4月30日(日)、5月28日(日) ……以上、詳しくは教会のウェブページにチラシ、案内がありますので、そちらをご参照ください。

《教会住所》グリニッチ福音キリスト教会 (Japanese Gospel Church of Greenwich)、 牧師 立石尚志
c/o St. Paul Ev. Lutheran Church, 286 Delavan Ave. Greenwich, CT 06830 website: www.jgclmi.com
《問い合わせ》 教会 TEL/FAX(203)531-6450、牧師宅 TEL/FAX (203)531-1609 e-mail: church@jgclmi.com

